

巡回展「ダーウインを驚かせた鳥たち」実施報告書

記入日:令和 6年 10月 10日

| | |
|----------|------------|
| 館名・団体名 | ネオパークオキナワ |
| 部署・担当者氏名 | 動物管理部 山中隼輝 |

1. 開催概要

開催期間

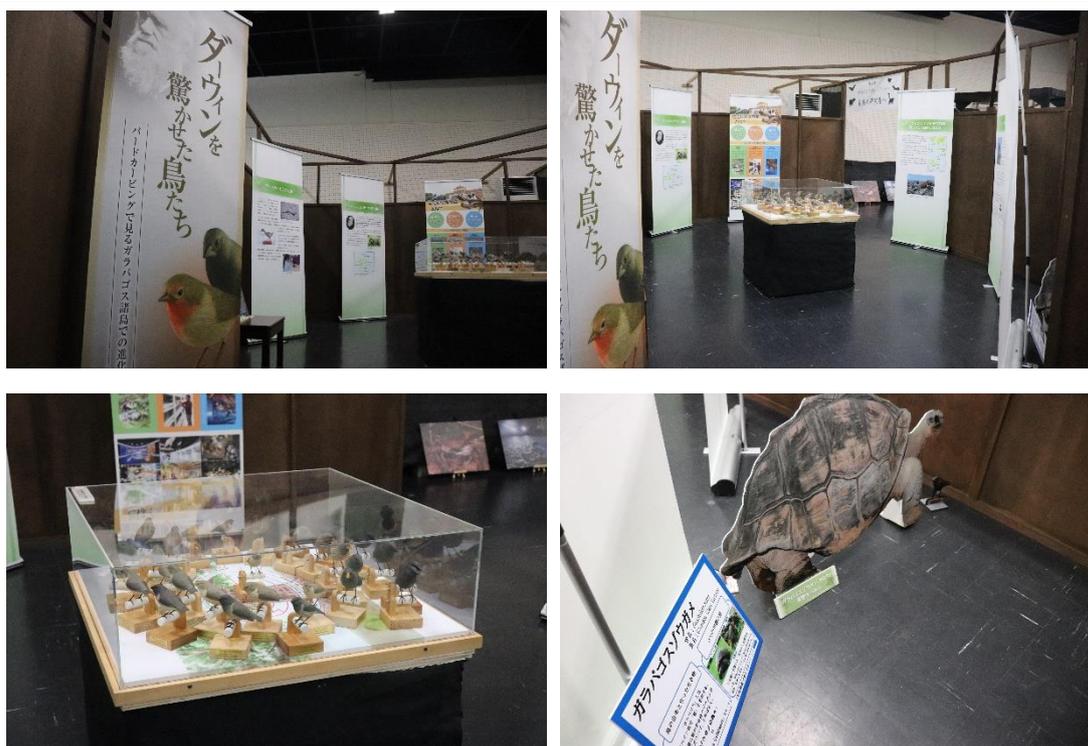
令和 6年 7月 20日(土) ~ 令和 6年 9月 23日(月)

開催日数:65日(休館日を除いた日数をご記入ください)

展示会場広さ (展示会場平面図があれば、別途添付してください)

約280㎡

開催の様子 (写真)



チャールズ・ロバート・ダーウインの展示エリアの様子



覗き穴とその穴を覗くと見える風景



他の展示エリアの様子
入口(左)と黒岩恒のエリア(右)



他の展示エリアの様子
黒岩恒のエリア(左)と近藤典生のエリア(右)

2. 開催にあたって

開催までのながれ (設営・撤去における対応スタッフ数)

| | | |
|-------------|---------------|---------|
| | 令和 6年 7月10日 | 展示物搬入 |
| 令和 6年 7月 1日 | ～ 令和 6年 7月19日 | 設営(15人) |
| 令和 6年 7月20日 | ～ 令和 6年 9月23日 | 開催 |
| 令和 6年 9月23日 | ～ 令和 6年 9月28日 | 撤去(10人) |
| 令和 6年 9月26日 | | 展示物搬出 |

| |
|--|
| <p>内容および運営上の工夫があればご記入ください</p> |
| <p>3人の研究者(黒岩恒・近藤典生・チャールズ・ロバート・ダーウィン)にフォーカスを当てた内容となっており、その中の展示の一部(ダーウィンのエリア)としてお借りした。</p> <p>展示物の中には難しい内容があったため、お子様が楽しめるエリア、大人が勉強できるエリアに分けて作成を行った。</p> <p>また展示場内にゆとりをもって配置したことにより、多くの方の目に展示物が触れることができた。</p> |
| <p>展示物に対する来場者の反応はどうでしたか</p> |
| <p>じっくりとバードカービングを観察してくださる方々が多く見られた。また近くに紹介動画を配置したことにより、これまで知らなかった方々にも魅力を伝えることができた。お子様には穴からのぞいた先に配置した、ガラパゴスゾウガメのタロウに人気があった。</p> |

3. 広報について

広報方法(チラシ等のデータがあれば、別途添付してください)

国立科学博物館がやってくる
研究者を驚かせた生き物たち展

ダーウィンの進化論のヒントとなったとされる鳥
ダーウィンフィンチ展

沖縄自然科学の第一人者、黒岩恒を夢中にさせた！
クロイワパネル展

ネオパークの生みの親、近藤典生を夢中にさせた！
動物たちの骨格標本展

!!

～チャールズ・ロバート・ダーウィン～
生物進化論を発表したイギリスの自然科学者

～黒岩恒～
沖縄の固有種を発見した教育・博物学者

～近藤典生～
ネオパークの生みの親で環境共生学者

日時：2024年7月20日(土)～9月23日(月) 9:30～17:30
場所：ネオパークオキナワ内、情報自然博物館
協力：独立行政法人国立科学博物館、一般財団法人全国科学博物館振興財団

ネオパークオキナワ
NEO PARK
OKINAWA

HP、チラシ、メディアによる取り上げ。